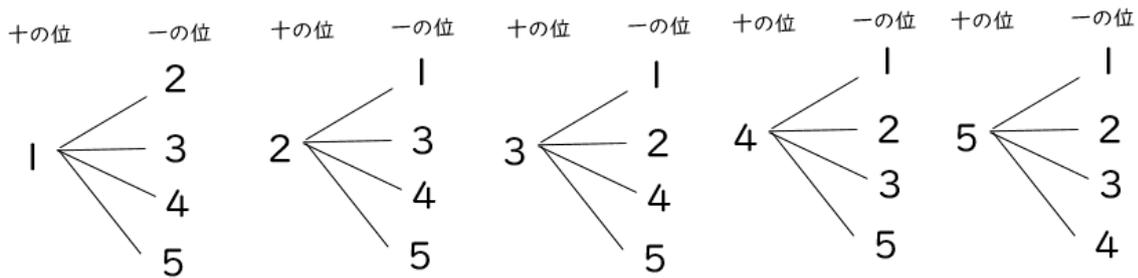


<ポイント> 樹形図と場合の数

○樹形図とは、起こりうるすべての場合を書き出すときに使う図のことである。

<例> 1 から5の数字が書かれたカードが 1 枚ずつ、合計5枚のカードがある。この中から2枚のカードを取り出し、そのカードを使って2けたの整数を作るとき、30 以上の整数になる確率を求めよ。

すべての場合を数え上げるときに、樹形図を使う。



最初に十の位、次に一の位に数をならべて書いていく。

十の位の 1 に対して、一の位における数は 4 通りあり、十の位にはそれぞれ 1 から 5 の 5 通りの数をおくことができるので、できる 2 けたの整数 $4 \times 5 = 20$ 通りになる。

このうち 30 以上の整数は 12 通りあるので、確率は $\frac{12}{20} = \frac{3}{5}$

【1】2、3、4の3枚のカードを使って、3けたの整数を作るとき、以下の問いに答えなさい。

(1) 百の位が2になる整数は全部で何通りありますか。 ()

(2) できた整数が400より大きくなる確率を求めなさい。 ()